

- 問1 明治時代に行われた北海道の開拓の背景と特徴について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 九州地方の沿岸警備を目的として配置された防人が、大規模な志願制度によって北海道へ移された。 | 2. アイヌの人々の独自の文化や土地利用の権利を保護することを最優先に開発が進められた。 | 3. 政府は開拓使を設置し、屯田兵による北方の防衛と大規模な土地改良を並行して進めた。 | 4. 広大な森林を維持するため、農業は一切行わずに毛皮の採取と輸出のみを推奨した。 |
|--|--|---|---|
- 問2 1960年から2010年までの50年間で、札幌市の人口は約62万人から約191万人へと3倍以上に急増しました。北海道全体の人口が1950年の約430万人から2010年の約551万人へと緩やかな推移を見せる中で、このような札幌市の人口動態が北海道全体に与えている状況として最も適切なものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 道内人口に占める札幌市の割合が一貫して上昇し、札幌市への一極集中が進んでいる。 | 2. 札幌市の人口増加率よりも北海道全体の人口増加率の方が高く、人口の分散が起きている。 | 3. 道内の各都市が札幌市と同様のペースで成長したため、札幌市の人口占有率は低下している。 | 4. 北海道全体の人口が減少局面に入ったことで、札幌市の人口も2010年に向けて激減した。 |
|--|--|---|---|
- 問3 北海道のある都市の気候統計において、年平均気温が約8.9度、年降水量が約1106.5mmであり、特に12月や1月の降水量が比較的多いというデータが見られました。この都市が位置する場所として最も適切な条件はどれですか。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 1. 北海道の中央部に位置し、海から離れた盆地状の地域 | 2. 北海道の東側に位置し、親潮（寒流）の影響を強く受ける地域 | 3. オホーツク海に面し、冬には流氷が押し寄せる地域 | 4. 北海道の西側に位置し、日本海の影響を受ける地域 |
|-----------------------------|---------------------------------|----------------------------|----------------------------|
- 問4 北海道の石狩平野における大正時代から現代にかけての地形の変化について、統計や地図上の情報を文章で説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。 | 2. 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。 | 3. 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。 | 4. 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。 |
|--|--|---|--|
- 問5 北海道と本州の交通網の整備とその地理的背景について説明した文として、最も適切なものを選択してください。 (2018年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 津軽海峡を横断する高速道路専用の橋を建設し、青森県から秋田県への自動車移動を効率化させた。 | 2. 宗谷海峡に巨大な橋を架けることで、北海道とロシアを陸路で結び、農作物の輸出を拡大させた。 | 3. 関門トンネルを抜けた新幹線が、岩手県から直接北海道へ乗り入れることで移動時間を大幅に短縮した。 | 4. 津軽海峡の海底に青函トンネルを建設することで、青森県と北海道の間の安定した鉄道輸送が可能になった。 |
|--|---|--|--|
- 問6 札幌市の気候の特色を、本州の都市と比較して説明したものとして、最も適切な内容を選んでください。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 緯度が高いため1月の平均気温が氷点下となり、梅雨や台風の影響が少ないため夏季の降水量が本州に比べて抑えられている。 | 2. 季節風の影響で冬の降水量は本州の日本海側より多いが、夏季は太平洋高気圧の影響で非常に高温多湿となる。 | 3. 日本海流の影響を強く受けるため、1月の平均気温は氷点下にはならず、年間を通じて降水量が平均化されている。 | 4. 1月の平均気温が氷点下となる一方で、梅雨前線の停滞により初夏の降水量が本州の都市よりも多くなる。 |
|--|---|---|---|
- 問7 日本の主要都市における1月の気候データにおいて、1月の平均気温がマイナス5度付近と極めて低く、かつ1月の降水量が100ミリメートル未満という特徴を持つ都市として最も適切なものを選んでください。 (2023年 福井県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 大阪市 | 2. 宮崎市 | 3. 札幌市 | 4. 金沢市 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問8 北海道の釧路市周辺では、夏の時期に「海霧」と呼ばれる濃霧が発生し、日照時間が短くなるという気候上の特徴が見られます。このような現象が起こる背景として、地形や海流の影響を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 熱帯低気圧から変わった温帯低気圧が、太平洋沿岸の暖流によって勢力を強めるため。 | 2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な風が、大雪山系を越える際に上昇気流を作るため。 | 3. 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。 | 4. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である日本海流（黒潮）の影響で湿気を帯びるため。 |
|--|--|--|---|
- 問9 北海道の地形的特徴について述べた文として、正しいものを次の記述から選びなさい。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 襟裳岬から北へ向かって飛騨山脈が延びており、道内最高峰の山々が連なっている。 | 2. 十勝平野の西端には赤石山脈が位置し、冬の季節風を遮る役割を果たしている。 | 3. 石狩低地帯の東側には日高山脈が南北に走り、地域の地理的境界線となっている。 | 4. 石狩低地帯の西側には奥羽山脈が連なり、大規模な稲作地帯を形成している。 |
|---|---|--|--|
- 問10 日本の積雪寒冷地では、道路の上方に下向きの矢印が描かれた標識が設置されていることがあります。この標識を設置する主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
| 1. 吹雪や積雪によって路肩の境界が見えなくなるのを防ぎ、道路の端を示すため | 2. 除雪車が雪を捨てて場所を指定し、作業の効率化を図るため | 3. 野生動物が道路を横断する可能性が高い地点であることを警告するため | 4. 急な上り坂が続くことを運転者に知らせ、低速走行を促すため |
|--|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------|
- 問11 北海道の日本海沿岸に位置する稚内付近では、5月から6月にかけて月別平均日照時間がピークを迎えます。このような自然環境に関する説明として、誤っているものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 日本海を北上する対馬海流は暖流であり、この地域の気候に影響を与えている。 | 2. 5月から6月にかけて日照時間が長くなるのは、梅雨前線の影響を本州ほど受けにくいことも背景にある。 | 3. 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。 | 4. この地域が日本の他地域に比べて高緯度にあることは、夏季の昼の時間が長くなる要因となっている。 |
|---|---|---|---|
- 問12 北海道の気候を地域ごとに比較したとき、日本海側の地域と比較した「内陸部」の特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---|---|
| 1. 夏に太平洋側から吹き込む冷たく湿った気流の影響で、日本海側よりも夏に晴天の日が少ない。 | 2. 暖流の影響を直接受けるため、日本海側の沿岸部よりも冬の気温が高い。 | 3. 梅雨の時期に湿った空気の影響を強く受けるため、日本海側よりも6月の降水量が多い。 | 4. 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。 |
|--|--------------------------------------|---|---|